

特別講演会報告（抄録）

早稲田大学文化芸術週間 2019 特別講演会
會津八一記念博物館企画展示「世界をつなぐやきもの」関連企画

世界をつなぐやきもの

—早稲田大学の調査から—

日時：2019年10月19日(土) 13:00~15:00

会場：早稲田大学 戸山キャンパス 36号館 6階681教室

主催：早稲田大学會津八一記念博物館

早稲田文化芸術週間 2019 特別講演会

世界をつなぐ やきもの

—早稲田大学の調査から—



陶磁器、
遙かなる旅路。

日時：2019年10月19日(土) 13:00~15:00
会場：戸山キャンパス 36号館 681教室

世界をつなぐ やきもの

早稲田文化芸術週間 2019
特別講演会
—早稲田大学の調査から—

講演会概要

早稲田大学會津八一記念博物館の秋季企画展「世界をつなぐやきもの」(会期：2019年10月1日~11月10日)に関連した本学教授による特別講演会です。今回の企画展では、大量の中国陶磁が発見されたことで著名なエジプトのアル=フスタート遺跡の出土品をはじめ、西アジア、東南アジア、東アジアなどさまざまな地域のやきものを展示しています。本講演会では展示の詳細な解説として、1978年から行われたアル=フスタート遺跡の発掘調査や東南アジア地域での発掘調査など、早稲田大学が行ってきた考古学調査やそこで発見された陶磁器について近藤二郎教授・田畑幸嗣教授より説明をいたします。



アル=フスタート遺跡

プログラム

13:00~13:10 開会挨拶・趣旨説明

13:10~14:00 「アル=フスタート遺跡と早稲田大学の調査」・・・近藤二郎 (文学学術院教授)

14:00~14:50 「世界を繋ぐ陶磁器」……………田畑幸嗣 (文学学術院教授)

14:50~15:00 閉会挨拶

日時・会場

2019年10月19日(土) 13:00~15:00 (12:30開場)

戸山キャンパス 36号館 6階 681教室※
※展示会場とは別の会場になりますので、ご注意ください。



●東京メトロ東西線 / 「早稲田」駅3b出口から徒歩3分
●副都心線 / 「西早稲田」駅から徒歩12分
●都営バス / 高田馬場駅一帯大正門、「馬場下町」バス停から徒歩3分

早稲田大学
會津八一記念博物館
AIZU MUSEUM, WASEDA UNIVERSITY

お問い合わせ：會津八一記念博物館事務所
TEL: 03-5286-3835 E-Mail: aizu@list.waseda.jp

講演会概要

本講演会は、早稲田大学會津八一記念博物館の秋季企画展「世界をつなぐやきもの」の関連企画として実施した。企画展「世界をつなぐやきもの」では、陶磁器研究の大家三上次男博士が著書『陶磁の道』で取り上げたことでも著名なエジプトのアル＝フスタート遺跡の出土品を中心に、會津八一記念博物館で所蔵している西アジア・東南アジア・東アジアなどのやきものを展示した。本講演会は展示内容の詳細な解説として、1978年から早稲田大学によって行われたアル＝フスタート遺跡の発掘調査に携わった近藤二郎教授と、東南アジア地域の陶磁器研究をご専門とされている田畑幸嗣教授に、展示品の説明や発掘調査当時の様子、現在の研究等についてご講演をいただいた。以下は講演会当日のプログラムである。次のページには当日の会場風景の写真を掲載した。

また、近藤二郎先生には当日の講演内容について本書にご寄稿いただいた。

プログラム

【開会挨拶】

13：00～13：05

肥田 路美

(早稲田大学會津八一記念博物館館長・文学学術院教授)

【趣旨説明】

13：05～13：10

石井 友菜

(早稲田大学會津八一記念博物館助手)

【講演】

13：10～14：00

「アル＝フスタート遺跡と早稲田大学の調査」

近藤 二郎

(早稲田大学文学学術院教授)

14：00～14：50

「世界を繋ぐ陶磁器」

田畑 幸嗣

(早稲田大学文学学術院教授)

【閉会挨拶】

14：50～15：00

石井 友菜

(早稲田大学會津八一記念博物館助手)

特別講演会 会場風景



◀ 開会挨拶：肥田 路美
(早稲田大学會津八一記念博物館館長)



▲ 講演：「アル=フスタート遺跡と
早稲田大学の調査」
近藤 二郎 (早稲田大学文学学術院教授)



▲ 講演：「世界を繋ぐ陶磁器」
田畑 幸嗣 (早稲田大学文学学術院教授)

